



2022年1月13日

一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会
TC協会会員各位

一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会
代表理事 山崎 敏正

製品・サポート情報における解析取り組み実務技術研究会
会員登録のお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は当協会の活動にさまざまなご支援とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

2018年からWGとしてスタートした本活動は、外部から有識者を招へいして知見修得をしやすいするために、2019年から製品・サポート情報における解析取り組み実務技術研究会として、組織形態を改めて活動しています。TCシンポジウム2019、2020、2021にて活動成果の一端を公開してきました。TC関係者が求める解析および評価技術の運用知見を、ネット公開を中心とする製品・サポート情報に適用する技術として可及的速やかに実用水準に近づけるべく、企業の枠を超えて協同研究・検討を進めます。

2022年は、各社が目差す解析取り組みの段階に応じた各論へと議論を深めつつ、デジタル化推進を要請する国内外の法令規格要求に対応した情報の発信を促進する技術として取り組みます。また、非文書(チャットなど)、非構造化情報(動画など)のアクセス解析も対象に加えていきます。

つきましては、下記要領にて皆様から製品・サポート情報における解析取り組み実務技術研究会員を募集いたします。ご多忙中、恐縮ではございますが、主旨をご理解の上、ご参加をお願い申し上げます。 敬具

記

■登録いただく実務技術研究会員(解析技術に長じた方に限り、非会員の参加を認めます)

製品・サポート情報における解析取り組み実務技術研究会

■実務技術研究会員の任期

2022年1月～2022年12月を予定

■実務技術研究会員の役割

情報の3循環「つくる・つたえる・つかう」において、PDCAサイクルを実現する要になるのが解析技術です。情報利用者が主に接する情報媒体と情報形態が急速に変化し始めた今日、「情報をつかっってもら(体験価値の提供)」の実現のために、情報利用者がどのように情報にアクセスしたのかを示すデータの活用に関する実務技術が欠かせません。本実務技術研究会では、Web業界およびマーケティング業界で普及している解析技術のTC分野における実践的活用方法について議論します。特に、所属企業が知財に関する権利を保有する解析対象データを取り扱う担当者の参加を求めています。

■実務技術研究会の開催頻度

定例会議は隔月開催で年6回程度です。これにはTC協会主催のシンポジウムにおける公開討論を2回分含みます。一部有志による追加活動も予定します。また、実務技術研究会専用のサイトにおいて、活動成果を共有します。

■概略日程

●前期(1月～6月)

- ・PDFを対象とする解析の確認
- ・2021年活動成果の公開内容の確認
- ・アクセスデータの活用に関する実務技術の調査、考察、試行

●後期(7月～12月)

- ・シンポジウム2022での公開討論の実施
- ・非文書(チャットなど)、非構造化情報(動画など)のアクセス解析

●通期

- ・プロセス管理、品質管理に寄与する技術としての議論への展開
- ・有識者を交えたワークショップの開催(取り組み事例によるケーススタディなど)

■申し込み締切日

別紙の登録用紙に必要事項を記入し、1月21日(金)までにFAX(03-3368-5087)またはメール添付(tc-info@jtca.org)にてTC協会事務局までご連絡ください。なお、2022年第1回活動は2021年のメンバー構成にて1月13日に実施済みです。

以上

一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-34-2
第一後藤ビル 101号室
Tel:03-3368-4607 Fax:03-3368-5087
https://www.jtca.org



2022 年 月 日

TC 協会事務局 行(FAX:03-3368-5087)
またはメール(tc-info@jtca.org)にてご連絡ください。

製品・サポート情報における解析取り組み 実務技術研究会員登録用紙

製品・サポート情報における解析取り組み実務技術研究会員として、次のメンバーを登録いたします。

TC 協会会員番号	非会員の方は記入不要です。
登録者氏名	
会社名	
部署名	
会社の住所または ご自宅の住所	〒
電話番号	
FAX番号	
E-Mail	